

「新しい茨城」への挑戦

大井川和彦 茨城県知事 講演



講演する大井川和彦茨城県知事

県政運営の基本方針・成果を紹介

茨城産業人クラブ(高橋日出男会長)協賛製作所社長)は7月17日、水戸市の水戸京成ホテルで、大井川和彦茨城県知事の講演会を開いた。大井川知事は「『新しい茨城』への挑戦」と題して講演し、県政運営の基本姿勢や、知事就任後2年間の成果を紹介。講演会には県内産業人約140人が参加した。大井川知事は講演後も、企業経営者らと県内産業界を盛り上げるための方策などについて活発に意見を交換した。講演の様相を紹介する。

失敗を恐れず挑戦

まず、皆さんには次の話題を意識していただきたいと思います。2020年以降の30年間で、日本の人口は2000万人以上減少するという推計がなされています。働き盛りがこれから大幅に減っていくわけですから、1年あたりで70万、80万人、県の総人口規模に相当するところもあり得ます。こうした人口減がもたらす課題は、魅力的な職場を地域にいかにつくっていくかにかかっています。そこに加え、ある程度まで減った人口をどうにか増やしていくことも大きな課題です。人口が減少していく中で、あらゆるインフラのメンテナンスをすべて実用レベルに保つておくことは、ある程度の選択は必要です。この時に、戦略的な維持管理・更新が必要になってくるのです。今までと同じではいけない。スピード感重視で施策実行



県知事の講演会には140人が参加した

主催 茨城産業人クラブ

若者の流出 過去10年間の累計の企業立地面積や県外企業立地件数では、茨城県がダントツの全国1位となっています。その一方で、毎年7000人の若者が東京に流出しているのです。年間1万5000人ほどの人口が減っています。自然減もあります。が、一番痛いののは働き盛りの若者が流出し、その後戻ってこないことです。これは地方の共通の課題ですが、茨城県の人口は2000万人以上減少するという推計がなされています。働き盛りがこれから大幅に減っていくわけですから、1年あたりで70万、80万人、県の総人口規模に相当するところもあり得ます。こうした人口減がもたらす課題は、魅力的な職場を地域にいかにつくっていくかにかかっています。そこに加え、ある程度まで減った人口をどうにか増やしていくことも大きな課題です。人口が減少していく中で、あらゆるインフラのメンテナンスをすべて実用レベルに保つておくことは、ある程度の選択は必要です。この時に、戦略的な維持管理・更新が必要になってくるのです。今までと同じではいけない。スピード感重視で施策実行

スピード感重視で施策実行

私は、知事就任後に策定した総合計画「新しい茨城」への挑戦の中で、「新しい豊かさ」を追求しています。スピード感重視で施策実行

補正予算活用

スピード感重視で施策実行

極端を選択

スピード感重視で施策実行

さらなる課題解決に必要なプロフェッショナル人材のマッチングをサポートします。

茨城県プロフェッショナル人材戦略拠点

茨城県の経営者の皆さま

経営課題を解決し「攻めの経営」への道を拓きませんか?

プロフェッショナル人材戦略拠点は、内閣府の事業です。お気軽にご相談ください。

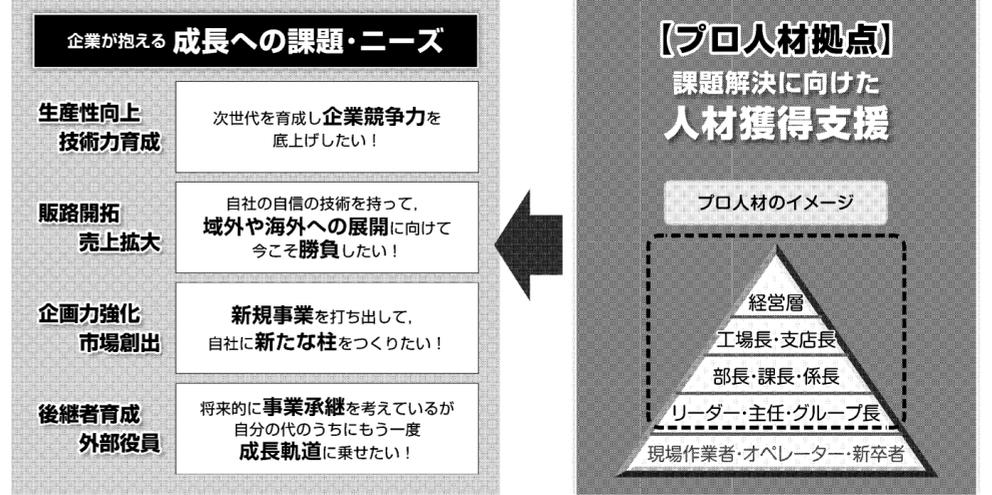
茨城県プロフェッショナル人材戦略拠点 <http://www.iis-net.or.jp/>

公益財団法人 茨城県中小企業振興公社

〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 (茨城県産業会館9F) JR水戸駅南口(徒歩5分)

TEL:029(224)5339 FAX:029(227)2586

茨城 プロ人材 検索



まずは、茨城県プロフェッショナル人材戦略拠点にご相談ください



戦略マネージャー

宮永 芳行

(みやなが よしゆき)

皆さまへのメッセージ

茨城県は、ものづくり、アグリビジネス等全国トップクラスにありますが、更なる成長には、人材戦略が不可欠となっております。地元企業のオーナーとフェイストゥフェイスにより、人材面のニーズを引き出し、プロフェッショナル人材とのマッチングを推進することで、地域社会の発展に少しでも貢献できればと考えます。